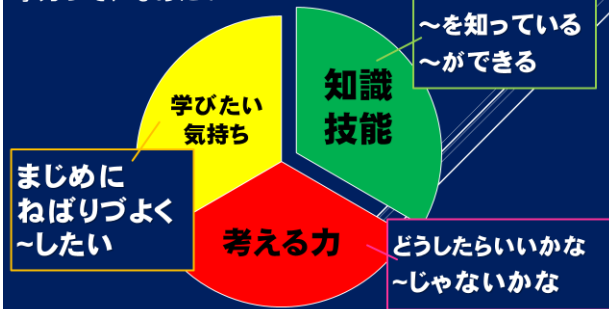


知識よりも思考力を

2学期の終業式と3学期の始業式において、子供たちに「学力」について話をしました。学力は「知識・技能」「考える力」「学びたい気持ち」の三要素から成り立っていることや学力を付けるために大切なことなどを噛み砕いて伝えました。(以下話で用いた資料の一部をご参照ください。)一番伝えなかったことは、最後のシートですが、学ぶべきは何も子供だけではないこと、子供に教えるときは大人自身が今の我をふり返る機会にもなることを始めに確認しておきたいと思います。

学力って、なあに？



どうして、
頭が良くなりたい、かしこくなりたいたいのかな？

- 頭が悪いのは、いや。
- 頭が良いと、人からすごいと思われる。人からほめられる。
- 頭が良いと、良い高校、大学に行ける。良いところに就職できる。
- 頭が良いと、何かと便利だから得(とく)をする。頭が悪いと損(そん)をする。 など

「頭が良い(かしこい)と、人生が豊かになる、人に優しくできる」……とされます。

どうやったら、
頭が良く(かしこく)なれるのか？！

① 問いをもつ。

② SOSを出す。

① 問いをもつ。

- どうしてかな？ なんでだろう？
- どうやるのかな？
- どうすればいいのかな？

挑戦に失敗はつきもの
「失敗してもいいや」

失敗をくり返したくない
「どうしたら防げるかな」

「好き」「おもしろい」という気持ちが
土台(どだい)になります。

② SOSを出す。

- 分からないよ、できないよ！
- 助けて！ HELP(ヘルプ)！
- 教えてくれる？

手を挙げるのは、分かるとき
だけではありません。

まずは、自分でやってみる(考える、調べる、確かめる)ことが土台になります。

私のまわりに広がる世界



あなたは、ダメじゃない！



さて、先日、テレビ番組「そこまで言って委員会」を観ていて、面白いネタを仕入れましたので、ご紹介いたします。

〈問題〉

一枚10グラムの金貨10枚の入った袋が4つあります。一つだけ手に入れることができますが、実は、一つの袋だけ一枚11グラムのニセ金貨が入っています。あなたは一度だけ秤を使って確かめることができます。さて、どのようにしてニセ物をあばきますか？

〈解答〉

作業上、まず、袋に①～④番を付けます。次に①から1枚、②から2枚、③から3枚、④から4枚の金貨を取り出し、これら(合計10枚)の重さを量ります。その重さを見て、101グラムなら①、102グラムなら②、103グラムなら③、104グラムなら④がニセ物ということになります。

私は全く手も足も出ませんでした。でも解答を聞いて、「へー、頭がいい！」と感心してしまいました。IQが高い人の考えかもしれませんが、この「へー」は、学ぶ際にぜひ大切にしたい反応です。知識を詰め込んでも感心は得られません。

考える力は、「見えないものが見える力」とも言われます。